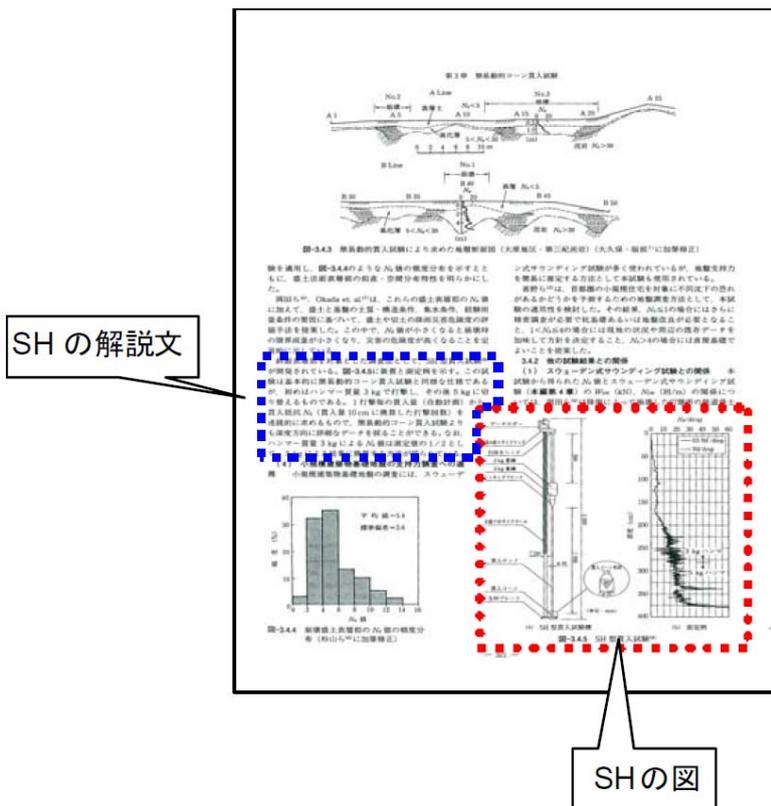


## 地盤工学会基準JGS1433<sup>2012</sup>の中にSH型貫入試験が掲載されました

公益社団法人地盤工学会発刊の「地盤調査の方法と解説」が9年ぶりに2013年3月に改訂され、地盤工学会基準の簡易動的コーン貫入試験（JGS1433<sup>2012</sup>）の解説部分（p 321）にSH型貫入試験が図付きで以下のように掲載解説されました。

「SH型貫入試験は基本的に簡易動的コーン貫入試験と同様な仕様であること、初めは3kgハンマーで打撃しその後5kgに切り替えること、1打撃毎の貫入量を自動計測して貫入抵抗を連続的に求めるため、簡易動的コーン貫入試験よりも深度方向に詳細なデータを得ることができること」等、SH型の特徴が簡潔明瞭に、必要かつ十分に説明されています。



「簡易動的コーン貫入試験」は、地質・土質試験に関するJISの原案を作成する地盤工学会が、簡易貫入試験の普及に伴って作成した基準（JGS1433）における名称であり、「簡易動的コーン貫入試験」と「簡易貫入試験」は基本的に同一のものです。

したがってこれにより、SH型貫入試験が、「基本的には簡易動的コーン貫入試験と同様の仕様であるが、深さ方向により詳細なデータを得られる試験法である」と、解説されたと言えます。